

ふじさわ子ども・若者委員会の提案に関する対応

チーム名	課題	提案内容・手段	関連する議論	対応
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所などの勉強できる場所の混雑 ・若者(主に中高生)たちの遊び・勉強・運動・友達との交流などができ、天候に左右されない場所が少ない ・学校以外の居場所や交流の場が少ない ・無料で使える公共施設が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の方向性 作るだけでなく既存の施設を活用する →利用率の低い市民の家などの既存の施設の改修	<ul style="list-style-type: none"> ・Fプレイス（藤沢市民センター）のイメージ ・駅に近いサンパール広場のイメージ ・市民の家の利用率の低さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウムin藤沢の開催にあわせて発表資料作成を実施しているため、「関連する議論」にあるとおり、本質的な希望の聞き取りと、中高生の求めるもの（あるいは不要と考えるもの）の聞き取りを行う。 ・市民の家の活用に関する所管課との調整

ふじさわ子ども・若者委員会の提案に関する対応

チーム名	課題	提案内容・手段	関連する議論	対応
ライフデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが進路選択をする上で将来何をやりた いのか明確なビジョンがなく困った 【かわせみボイスの声】 ・いろんな職業を知る機会が欲しい ・やりたいことをできない環境が存在する現状 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>高校生に様々な（身近な）職業を知る</u>ことで自分の職業観を広げる取組 ・ <u>職業体験的な実践型授業の導入</u> ・ <u>学校に行けない人等に市民センターを活用した事業展開／リモートでチャット形式を導入したリアルタイムの対応</u>を追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフデザインを考えるとこの当初の協議の中で、家族や性別に関する話合いもされていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアデザインに関する提案については、「地域のお仕事ガイドブックDXに関する取組」が市立中学校の学校現場へ広がりつつある。 ※「地域のお仕事ガイドブックDXに関する取組」インターネット環境で、地域の職業を紹介するサイトとなっており、そのサイトに登録された複数の事業者を学校に集め、職業講話・体験を実施する取組 ・ 上記事業を市民センター及び不登校の支援団体などと協働し事業の検討・調整を行う。 ・ 「関連する議論」にあるライフデザインに関する考え方について確認を行い、子ども・若者が考える機会となる取組について、話し合いを行う。

ふじさわ子ども・若者委員会の提案に関する対応

チーム名	課題	提案内容・手段	関連する議論	対応
政策	<p>藤沢市の政策は、子どもだけでなく藤沢市全体に影響をもたらしている大切なものだと考えているが、その内容が知られていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学1～4年生に向けて、学校の「生活」の授業などで政策について学び政策に関する興味を持たせる。 ・小学5～6年生に向けて、「社会」などの授業における政策関係の調べ学習に活用可能な子ども向けHP制作 ・中学～高校生に向けて、ユーチューブ・ショートなどを使ったSNSを用いた宣伝について、興味を持てるようにするための報酬付きプロジェクト。 ・子ども・若者会議のバッジ ・ユースが企画、計画、実行を出来る事業へ！ ・ふじさわ子ども・若者委員会をの継続的な政策提案 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活」の授業のカリキュラムの範囲に政策が該当するのか確認し、授業に耐えうるパッケージの確認。 ・子どもが直接関わる施策を子ども向けに説明するためのHPを作成中／政策に関するHPについて、上記のHP作成の中に、組み込むことが可能か検討を進める。 ・中学～高校生向け政策周知動画作成について、インターンシップの活用等を検討 ・バッジ作成中 ・（仮称）藤沢市子どもファンド事業の試行（来年度予算化予定） ・「ふじさわ子ども・若者委員会」を市役所分庁舎で独自に活動できるよう調整中